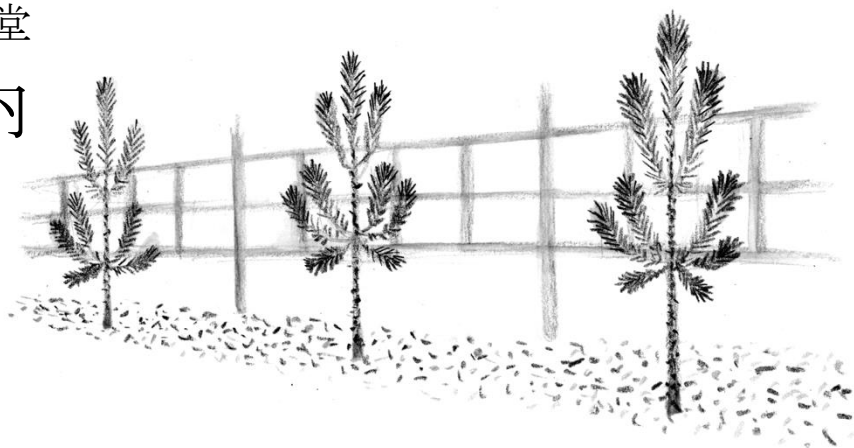


横浜能楽堂 催し物案内

2022年5・6月



特別公演「三老女」第2回

5月7日(土)14:00開演 (13:00開場)

狂言「萩大名」(大蔵流) 山本東次郎

能「檜垣 蘭拍子」(観世流) 大槻文藏

[料金] S席 9,000円/A席 8,000円/B席 7,000円

「三老女」を連続して上演するシリーズ公演の第2回です。能「檜垣」は、『後撰集』などに見られる檜垣の媼を題材とした一曲。若いころ美しい舞女として持て囃されたことが業となり、死後、地獄の業火が燃え立つ釣瓶で永遠に水を汲み続けるという苦しみを受ける白拍子の霊が現れ、老衰の姿で舞い、僧に救いを求めます。今回は、白拍子の舞の足遣いを表現する古式の演出である「蘭拍子」の小書が付きます。

普及公演「横浜狂言堂」

5月8日(日)14:00開演 (13:00開場)

お話 深田博治

狂言「仏師」(和泉流) 飯田豪

狂言「蝸牛」(和泉流) 野村裕基

[料金] 2,200円(全席指定)

仏師をかたる詐欺師が自ら仏像になりすます姿に注目の「仏師」と、「でんでんむしむし」の謡が楽しい「蝸牛」の2曲を、出演者のお話付きでお送りします。



狂言「蝸牛」(和泉流)
撮影：政川慎治

普及公演「横浜狂言堂」

6月12日(日)14:00開演 (13:00開場)

お話 山本東次郎

狂言「衣大名」(大蔵流) 山本東次郎

狂言「鎌腹」(大蔵流) 山本則孝

[料金] 2,200円(全席指定)

チケット発売 5月7日(土)正午(初日は電話・WEBのみ)

アンデルセンの「裸の王様」を翻案して明治期に創作された「衣大名」と、妻に怒られて自殺しようとする気の弱い夫の葛藤を滑稽に描いた「鎌腹」の2曲を、毎回好評の山本東次郎のお話とともに送ります。



狂言「衣大名」(大蔵流)
撮影：尾形美砂子

第69回「横浜能」

6月26日(日)14:00開演 (13:00開場)

狂言「舟渡聲」(和泉流) 野村又三郎

能「田村 替装束」(観世流) 岡本房雄

[料金] S席 4,500円/A席 4,000円/B席 3,500円

横浜能は昭和28年に第1回が開催されて以来、約70年にわたり市内の能楽愛好者団体である横浜能楽連盟が中心になって開催してきた催しで、現在は横浜能楽堂との共催で開催しています。

69回目を迎える今回は、観世流の岡本房雄による能「田村」と、和泉流の野村又三郎による狂言「舟渡聲」を上演します。